

「グラングリーン大阪」



JR大阪駅前で行われている「うめきた2期」開発事業地の名称が「グラングリーン大阪 (GRAND GREEN OSAKA)」に決まった。名前の由来通り、エリアの中心部には4.5haにもおよぶ巨大都市公園が誕生する。

このうめきた2期は、旧梅田貨物駅の跡地を利用した約17haの大規模な再開発計画の最後の開発地で、現況は写真のように工事が順調に進んでいる。来年夏頃にはヒルトン系ホテルの「キャンピー」などが開業予定で、その後順次街開きが進んでいく予定だ。

そんな中この3月にはJRの地下新駅「うめきた」駅が開業。これまで大阪駅を経由しなかった関空特急「はるか」や京都と和歌山を結ぶ特急「くろしお」が停車する。

この大阪都心最後の一等地の再開発事業の概要につき、阪急阪神不動産㈱の谷口様からご講演をいただきました。その内容は本文にてご紹介しています。

INDEX ● 今月の内容 ◇

〔講演要旨〕「うめきた2期開発プロジェクトの概況について」 2

〔講演要旨〕「大阪・関西万博と大阪IRの概況について」 13